

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	県立平和台公園・県総合文化公園
指定管理者	株式会社 馬原造園建設
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指 標		R7	R6	R5	増減理由等
平和台公園(単位:人)		45,573	43,532	46,282	両公園とも利用者数が増加しており、平和台公園ははにわ館(令和6年度に休館)の仮展示再開が、文化公園はキッチンカー出店の拡充が利用者増加の一因と考えられる。
総合文化公園(単位:人)		58,930	47,078	42,083	
コ メ ン ト	利用者の来園傾向やニーズの分析・把握に努め、利用者の満足度向上を図っている。両公園とも広々とした気持ちの良い環境や、地域特性を活かした幅広いイベントが好評を得ている。				

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
指定管理料	112,000	112,000	90,300	人件費	61,181	53,006	44,699
自主事業等	994	926	734	需要費・役務費	15,936	19,625	13,780
				委託料・使用料等	17,081	17,341	14,633
				経費	15,936	20,612	15,915
				自主事業等	2,344	1,579	1,876
合 計(①)	112,994	112,926	91,034	合 計(②)	112,478	112,163	90,903
収支差額(①-②)	516	763	131				
コメント	自動芝刈り機等を活用して業務効率化を図るほか、計画的な植物調達により経費縮減に努めている。他方で、景観向上や安全確保のための整備、安全管理等の作業量が増加し、昨今の賃金高も相まって人件費が増加している。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 園内清掃、トイレ清掃、管理事務所清掃、照明器具清掃、集水枡清掃、園路清掃
	保守・点検 遊具点検(専門業者:年3回、通常:月1回)、ガス灯点検、噴水設備点検、消防設備点検、浄化槽点検、照明及びタイマー点検等
	警 備 巡回パトロール(2回/日)、夜間巡回警備
	修 繕 園路舗装補修、園路灯塗装、遊具施設の修繕、照明器具修繕、園内看板補修、上下水道漏水修理
	備品等管理 適正な利用・保守管理
	安全対策 昼夜のパトロール徹底、安全会議・管理スタッフ会議(1回/月)、公園ハザードマップの随時更新、支障木・枯れ枝等の剪定
	その他 植栽管理業務(樹木、芝、花壇等)、動物飼育業務(鳩)、施設維持管理業務(園路、遊具、トイレ等)
企画運営業務	サービス提供体制整備 利用者アンケート調査、絵はがき販売、アイスクリーム販売、自動血圧測定器の設置、憩いグッズ(バトミントン、縄跳び、シート等)の貸出、公園運営管理情報システムの活用
	イベント等ソフト面充実 草花の無料配布会、はにわ作り体験、平和の塔内部公開、ホテル観賞会、天体観望会、オープンカフェ、ブックピクニック、寄せ植え教室、アート教室、盆景づくり教室、ホームページ作成・更新等
	施設設備等ハード面充実 芝生広場ベンチの交換、園路の豆砂利敷均し、背伸ばしベンチの改修、トイレ内タイルの改修
	その他 自主事業でのアンケート実施、文化公園3館協議会、花菖蒲ネットワークづくり、パークマスター友の会、日章学園との協働によるアイスクリーム販売、図書館と連携したブックピクニック
管理運営体制	有資格者の適正配置(造園施工管理技士、土木施工管理技士、ビオトープ管理士)、資格取得に向けた諸研修会への参加
コメント	イベント時に、都度アンケートを実施し、公園利用者側のニーズや改善してほしい要望等を把握・分析した上で、次のイベント開催等に役立てている。また、学生や福祉関係法人の関係者について、職場体験や就労体験も積極的に受け入れている。また、県立図書館との協働によるブックピクニックやパークカフェ、定期的に音楽家を招いて演奏会を開催する等、外部との連携も図られている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	来園者アンケート、イベント時アンケート、
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
公園内(場所は様々)で、イノシシ出没を目撃した。	その都度、現地を確認し、注意喚起を行った。
駐車場に目的外利用の車両が多く、駐車ができない。	見廻り回数を増やす等して、適正利用に努めていく。
新池で釣りをしている人がいるが、問題はないのか。	該当者に釣りは禁止である旨を説明して、やめてもらった。

5 総合評価

評価コメント	基本的に、公園利用者からの意見や要望等を汲み取った上で、公園管理上の諸施策を慎重に進めていることが認められ、管理業務に対する真摯さについて評価できる。また、管理運営も適正と判断される。
今後の課題と対応	文化公園については、引き続き、設備の老朽化に端を発する修繕等が多発しており、予算も限られる中、長期的な視点でどの公園施設を重点的に改善していくのかを検討していく必要がある。 また、平和台公園は、(人的被害はないが)倒木案件が発生しており、今後、安心・安全な公園を提供していく上での懸念事項になりかねないことから、十分に事前策を検討・準備しておく必要がある。